



練馬東中学校

学校だより

1月

教育目標 ○心豊かな人 ○健康な人 ○考える人 ○共に生きる人

令和7年度 1月号

「目的と目標」

校長 岩本 真由美

謹んで新春のお慶びを申し上げます。2026年の干支は「午（うま）」で、十干十二支では60年に一度の「丙午（ひのえうま）」です。馬は力強さや躍動感、前進の象徴で、新しい挑戦や事業発展に適した年とされ、火の性質をもつ「丙」と合わさり、エネルギーに満ちた活気ある一年になると言われています。

よく「一年の計は元旦にあり」という言葉を聞きます。この言葉の由来を調べてみると、戦国時代の武将「毛利元就（もうりもとなり）」の言葉とされる説と中国が由来の説の二つがあると言われています。毛利元就が唱えた説では

一年の計は春にあり *春とは、一年の初め

一月の計は朔（ついたち）にあり *朔とは、その月の初めの日

一日の計は鶏鳴（けいめい）にあり *鶏鳴とは、一番鶏が鳴く早朝

「新しい一年の計画は、その年の初めに、月の計画は月の初めの日に、

そして今日の計画は、早朝に立てる」

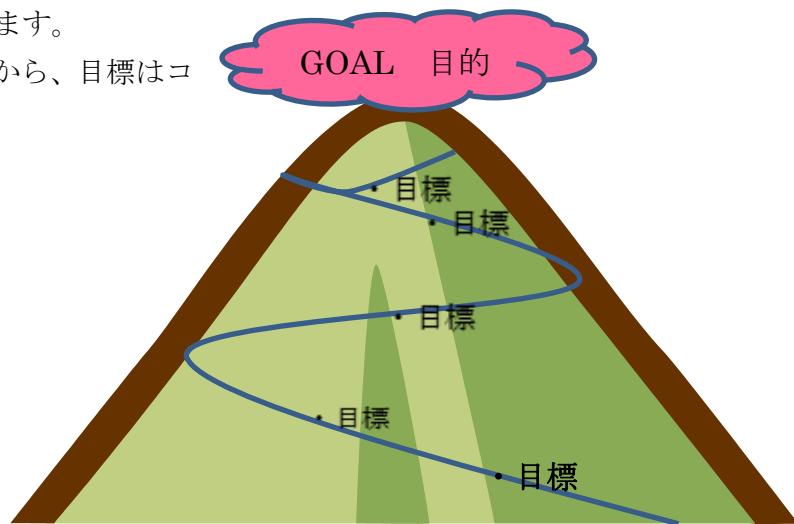
さらに、毛利元就が言いたかったことは、元旦、月初めの日、その日の早朝に計画を立てるだけでは意味がない。元旦、朔（ついたち）、鶏鳴（けいめい）からスタートし、計画を実行していくことが必要である。と言ったそうです。参考にしてみてはいかがでしょうか。

そしてもう一つ。目的と目標の違いをしっかりと認識することも必要です。目的は英語にすると「Goal」です。山頂をイメージしてください。それに対して、目標は英語にすると「Objectives」です。「ゴール」という山頂に至るまでに存在する数々の通過点になります。

山頂に至るまでのルートは無数に存在します。だから、目標はコロコロ変わっても何も問題ないのです。

目的と目標は、順番も大事です。目標を積み上げたその先に目的があるのではなく、まず目指すべき「ゴール」を決めることが第一です。次に、その目的に至るまでの数々のステップとなる目標が必要となります。目的に対して目標は「目的を達成するための手段」ともいえます。

少し難しい話をしてきましたが、皆さんの生活で「目的（どうしたいか）」を明確にすること、そして「目標（何をすれば良いか）」、「計画（具体的な方策）」ということになります。元旦は過ぎてしましましたが、年度を締めくくる三学期のスタートです。もう一度、「目的」「目標」「計画」を明確にしてみてはどうでしょうか。



1年 ソーシャル・スキル・トレーニング



先月の2年生に続き、1年生も「ソーシャル・スキル・トレーニング」の授業を行いました。学年全体で体育館に集まった2年生とは異なり、1年生は各教室で担任の先生やクラスの仲間とじっくり向き合う形で実施しました。



3年 命の授業



産婦人科医の先生を講師にお招きして「命の授業」を3年生が受けました。お話を通して、私たちが今こうして元気に過ごせていることのすごさや、周りの人たちの愛情について、みんなでじっくりと考える時間になりました。体育館全体が優しい空気包まれ、自分や友達のことをもっと大切にしたいという気持ちが膨らんだ、とても心温まるひとときとなりました。



薬物乱用防止教室

全校生徒で「薬物乱用防止教室」の授業を行いました。専門的なお話や映像を通して、薬物の害が心身に悪影響を及ぼすことを学びました。



「自分には関係ない」ではなく、もしもの時に自分を守るために正しい知識と判断力を持つことの重要性を再確認しました。



年末の清掃活動



年末の締めくくりとして、全校生徒で教室の大掃除を行いました。長い時間、お世話になった教室や机に感謝の気持ちを込めて、隅々まで丁寧に掃除していました。ピカピカになった教室で、清々しい気持ちで新しい年を迎えられました。

